

出前じどうかんーあそびばー

10:45-15:15

児童館・児童クラブでイチオシの工作やゲームなどの遊びが集う、遊びの情報交換の場です。さまざまな人たちと交流して楽しみながら、愛知の児童館・児童クラブを盛り上げていきましょう！愛知県内にある児童館や児童クラブを紹介するアピールカードもぜひ見に来てください。

参加団体

- 豊橋市交通児童館
- 稲沢市児童館・児童センター
- 高浜市4児童センター
- 北名古屋市児童館・児童センター
- 大治町児童センター
- 犬山市児童センター
- 豊川市児童館
- 津島市中央児童館
- 尾張旭市9児童館
- 長久手市児童館
- 名古屋市児童館
- 清須市8児童館



アクセス

名鉄犬山線・小牧線・広見線「犬山駅」下車 東へ徒歩5分

犬山市民交流センター「フロイデ」 犬山市松本町四丁目21番地



※ ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

LINE オープンチャット つなごう！あいちのじどうかん！

県内児童館・児童クラブ職員がオンラインで交流できる場です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

オープンチャットの参加はコチラ！



参加申込はWEBフォームにて受付中

基調講演

- “ともに あそび つながる 場所をめざして” ～『お客様時代』の中で～

定員 150名

分科会 ※ 定員に限りがあるため、例年と異なり先着順ですご注意ください。

- 第1分科会 テーマ：子どもの居場所 定員40名
『「とびだせ!!」～児童館も児童クラブも視点が変わると支援が変わる～』
- 第2分科会 テーマ：ICTの活用 定員40名
『児童館でのあそびにICTを取り入れるためには?』
- 第3分科会 テーマ：子どもの権利 定員40名
『子どもの思いを尊重する』

あそびば

- 児童館・児童クラブでイチオシの遊びが集う、遊びの情報交換の場

参加申込は
コチラ



ウェブフォームにて
参加を希望するものを
選択してください。

参加資格 児童館職員、児童クラブ職員、児童健全育成・子育て支援に関心のある方、子育て中の親や子ども

参加費 無料

受付期間 10月6日(日) 9:00～10月21日(月) 17:00

※ 締切日前でも定員になり次第受付を締め切ります。
※ 開催日1週間前を目安にメールにて参加証をお送りします。

問い合わせ先 元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん実行委員会 事務局

〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ週間乙1533-1
愛・地球博記念公園 愛知県児童総合センター内

公式サイト <https://www.acc-aichi.org/jidokan/switchon-2024/>

TEL 0561-63-1110

あつまれ!あいちのじどうかん

検索

※ 開催内容を変更する場合があります。詳細は公式サイトよりご確認ください。

第13回

元気スイッチon!!

あつまれ!あいちのじどうかん

みんなで今、
アップデートしよう!

参加無料

2024年11月3日[日・祝]

10:00-16:15 犬山市民交流センター「フロイデ」

主催：愛知県児童連絡協議会、名古屋市児童連絡協議会、愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）
共催(予定)：愛知県
企画運営：元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん実行委員会
後援(予定)：名古屋市、一般財団法人児童健全育成推進財団、愛知県地域活動連絡協議会、全国児童館連絡協議会、全国児童厚生員研究協議会、中日新聞社



元気スイッチ on!! あつまれ! あいちのじどうかん

～みんなで今、アップデートしよう!～

18歳未満の子どもたちが自由に遊びに来ることができる児童館。

みなさんの児童館に遊びに来る子どもたちは、どのように過ごしていますか？

児童福祉法が制定された1947年頃と比べ、現代の子どもたちを取りまく環境は大きく変化しています。

「アップデート」という言葉はソフトウェアやアプリなどを最新の状態に更新するという意味で使われていましたが、今では広く一般にも使われるようになりました。一見大きな変化はないように見えて、内容をよりよい状態にするため常に新しく更新しているというものです。

では、今の児童館にはどのようなことが求められているのでしょうか。児童館がこれから先の未来も、子どもたちの居場所であり続けるためにどのようにアップデートをしていくか、大会を通してみんなで考えていきたいと思います。

タイムスケジュール



開会式

10:00-10:30

基調講演

10:30-11:30

“ともに あそび つながる 場所をめざして”～『お客様時代』の中で～

日々、子どもや保護者、地域の方々…さまざまな人々が行き交い、集う児童館。

活動やトラブルに対し、「児童館にやってほしい」「職員になんとかしてほしい」そんな思いや声を聞くことはありませんか。

社会の中では、あそびや子ども・大人の様子の変化し、児童館・児童クラブに求められることが多様化しています。公共サービスの在り方も多様化する中、それぞれの立場の大人が当事者意識をもって児童館・児童クラブの活動に関わっていくには、どのように地域や人とつながっていけばよいのか、“ともに”考えてみませんか。



講師 西川 正 さん 特定非営利活動法人ハンスオン埼玉 副代表理事

NPO法人ハンスオン埼玉副代表理事。岡山県真庭市立中央図書館長。NPO法人あげお学童クラブの会元理事・現相談役。学童保育所、出版社、NPO支援センター等を経て、2005年、ハンスオン埼玉を設立「おとうさんのヤキモタイム」キャンペーン等コミュニティを育むさまざまなプロジェクトを提案。まちづくりや子育て支援の研修等の講師やファシリテーターとして活動。元恵泉女子学園大学特任准教授。立教大学・大妻女子大学等で非常勤講師。著書に『あそびの生まれる時～『お客様』時代の地域活動コーディネーション』(ころから)等。

分科会

13:00-15:30

第1分科会 テーマ：子どもの居場所

「とびだせ!!」～児童館も児童クラブも視点が変わると支援が変わる～

講師 中田 りり子 さん 特定非営利活動法人次世代健全育成サポートあひるっこ 理事長

みなさんには何がみえていますか？子ども達の未来をどう見据えていますか？子ども達は公園で自由に遊ぶこともできますが、児童館や児童クラブという館(やかた)の中に支援者がいることに大切な居場所としての意味があります。ですが、さらに館の外にとびだしてみませんか？とびだすことによって視点が変わると新しい支援の在り方が見えてくるはず！自分の地域すべてを子どもの居場所ととらえアウトリーチの活動をお勧めします。自分の地域ではなにができるのだろうか？みんなで事例から考えて話し合い、新しい1歩を!! みんなでとびだそう!!



第2分科会 テーマ：ICTの活用

児童館でのあそびにICTを取り入れるためには？

事例発表 酒井 幸子 さん 社会福祉法人樟橋会 豊山町北館さざんか児童館 主任

近年学校で取り入れられているタブレットなどのICT。児童館でも導入したい！でも実現って難しい。このように感じたことはありませんか？どのようなあそびができるのか、どのようなルールが必要なのか、職員の不安を取り除くには等、実現しようとする問題点が多く、導入が後回しになってしまうことがあるのではないかと思います。そこで、実際にICTを取り入れている児童館の事例を聞き、グループワークを通して子どもたちのあそびや居場所がより充実したものとなるよう、一緒にヒントを見つけてみませんか？



第3分科会 テーマ：子どもの権利

子どもの思いを尊重する

講師 原 京子 さん 一般社団法人子どもアドボカシーセンター NAGOYA 理事

子どもたちの気持ちは、話しをしないと分かりません。「みんな違っていいんだよ。そこが素敵なところ！」と声をかけると「そうなんだ！」とにっこり微笑むことがあります。その気持ちがなかなか伝わらない場面がありませんか？「自分の気持ちを伝えていいんだよ。」「気持ちを聴きたいな。」子どもの権利について振り返ってみませんか？



閉会式

15:45-16:15